

# 2025年5月期第2四半期 決算補足説明資料



株式会社ジーデップ・アドバンス



## 目次

- 2025年5月期 第2四半期決算・通期業績予想
- APPENDIX
  - 業績補足
  - 成長戦略
  - 中期経営計画 数値目標
  - 会社概要
  - 当社の強みと特徴

# 2025年5月期 第2四半期決算・通期業績予想

## — ハイライト

## 売上高

3,995百万円

前年同期比

+ 111.8%

対通期予想進捗率

69.2%

## 営業利益

498百万円

前年同期比

+ 90.6%

対通期予想進捗率

73.8%

- 1Qに引き続きGPUの需要が高く、特に生成AIのための大規模AI関連の設備投資需要が高い
- 為替変動が激しく、依然として先行きが不透明
- 前期受注した大型案件の影響により、大幅な増収を達成
- 中途採用による人件費増などにより販管費は増加しているものの、増収効果で営業利益も大幅増益
- 大型案件の影響により粗利率が4.6pt低下しているものの、増収効果により営業利益率は1.4ptの低下に留まる
- 上記内容は予算に織込み済みであり、年間進捗については概ね予定どおり

## 業績の概要

(千円)	2024年5月期 第2四半期		2025年5月期 第2四半期		前年同期比 (増減率)
	実績	売上比	実績	売上比	
売上高	1,886,149	—	3,995,118	—	+2,108,969 (+111.8%)
売上 総利益	424,974	22.5%	714,831	17.9%	+289,857 (+68.2%)
営業利益	261,582	13.9%	498,540	12.5%	+236,958 (+90.6%)
経常利益	246,402	13.1%	497,158	12.4%	+250,756 (+101.8%)
中間 純利益	170,977	9.1%	344,138	8.6%	+173,161 (+101.3%)

- 売上高  
主として大型案件の影響により増加
- 売上総利益  
規模の大型化に伴い粗利率は低下
- 営業利益  
販管費の増加はあるものの、主として増収効果により+90.6%の大幅増益
- 経常利益  
為替の影響はあるが、前期発生した上場関連費用がなくなったことによる影響

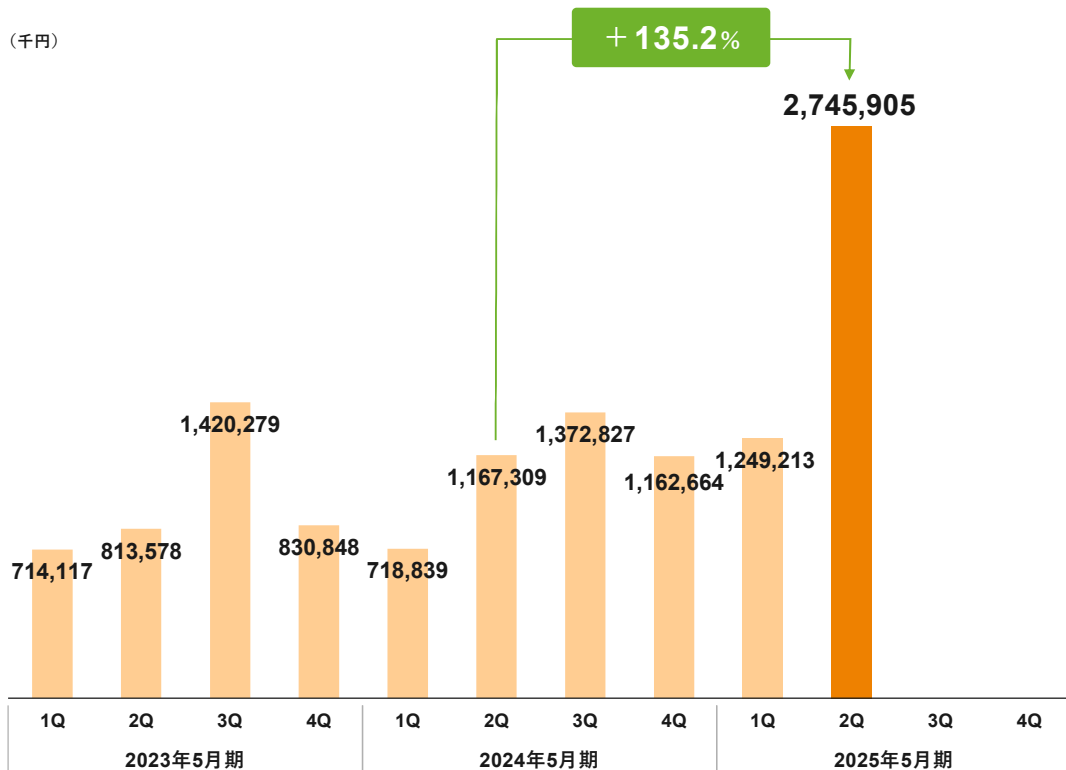
## 通期業績予想に対する進捗

(百万円)	2025年5月期 第2四半期		2025年5月期 通期		進捗率
	実績	売上比	予想	売上比	
売上高	3,995	—	5,770	—	69.2%
営業利益	498	12.5%	675	11.7%	73.8%
経常利益	497	12.4%	675	11.7%	73.6%
当期 純利益	344	8.6%	443	7.7%	77.6%

- 前期受注した大型案件の影響により大幅な増収を達成。また大型案件の影響で粗利率は低下しているものの、いずれも計画に織込み済みであり、進捗率は概ね順調に推移している
- 2Q時点で高い進捗率となっているが、ほぼ計画どおり。3Q以降、人的投資や設備投資に伴う費用が発生する予定

## 売上高の四半期推移

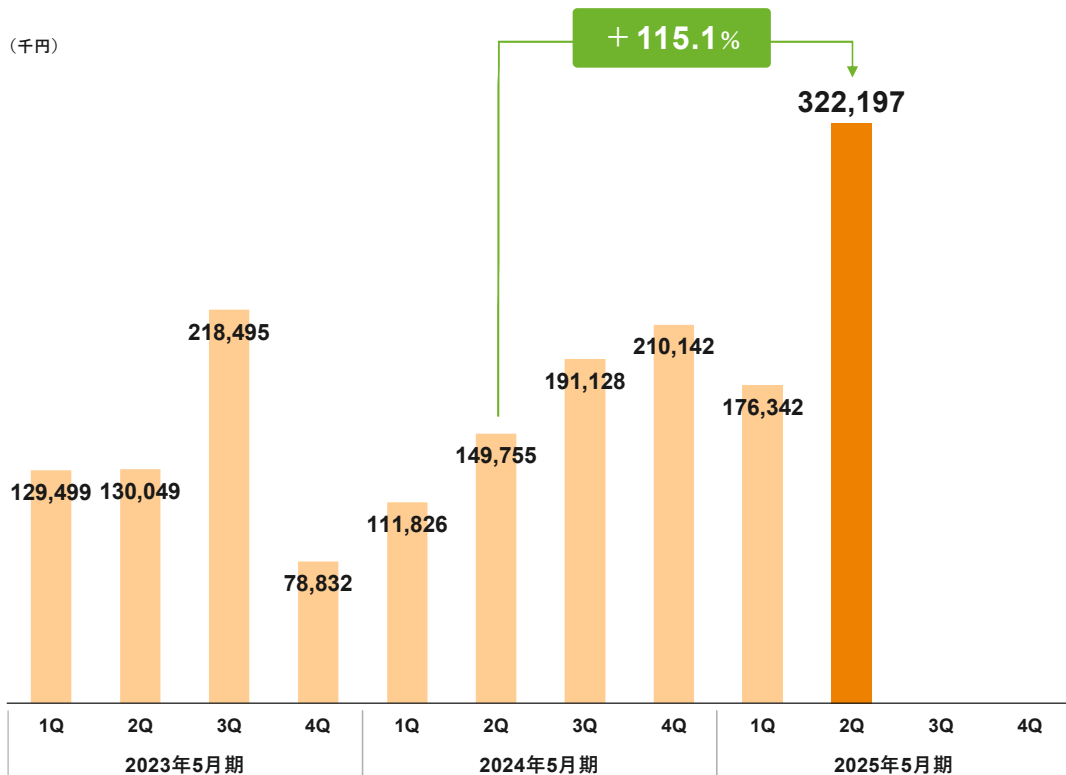
(千円)



- 計画どおりに大型案件を売上計上したことにより、大幅な増収を達成
- 案件規模の大型化に伴い、納期によって四半期の売上が増減する状況に変化

## 営業利益の四半期推移

(千円)



- 案件規模の大型化により売上総利益率は前年同期比で3.8pt低下、また販管費も増加したものの、増収効果により、大幅な増益を達成
- 3Q以降、人的投資や設備投資などによる費用が発生する見込み



## サービス区分別売上高

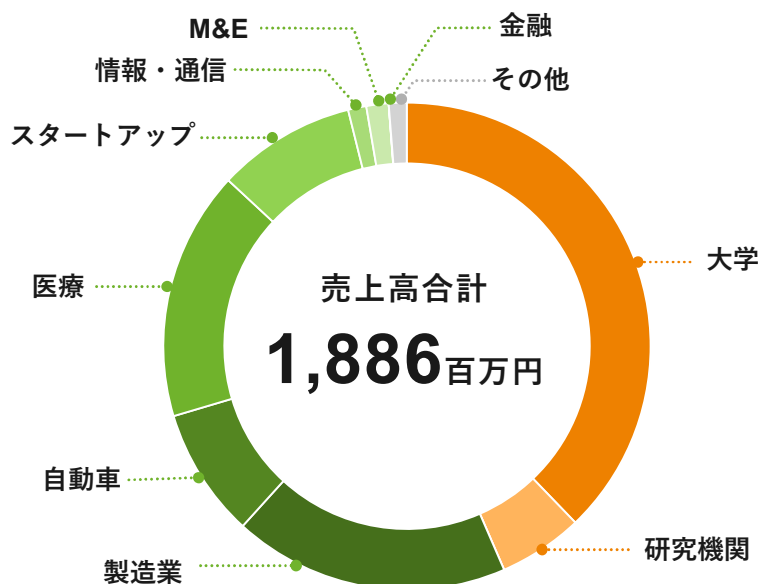
(千円)	2024年5月期 第2四半期	2025年5月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	1,886,149	3,995,118	+ 2,108,969	+ 111.8%
DXサービス	1,705,165	3,777,843	+ 2,072,677	+ 121.6%
Service & Support	180,983	217,274	+ 36,291	+ 20.1%

- 大型案件の影響により、DXサービスが大幅に増収
- Service & Supportは、件数を着実に伸長。増収基調が継続

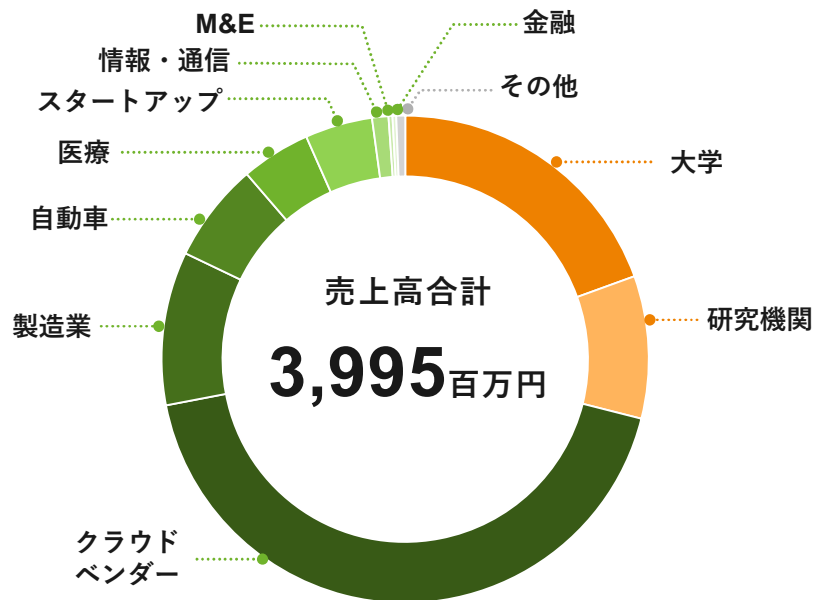
# インダストリー別売上

大型案件の影響により、構成比が大きく変化。

2024年5月期第2四半期



2025年5月期第2四半期



# 販管費

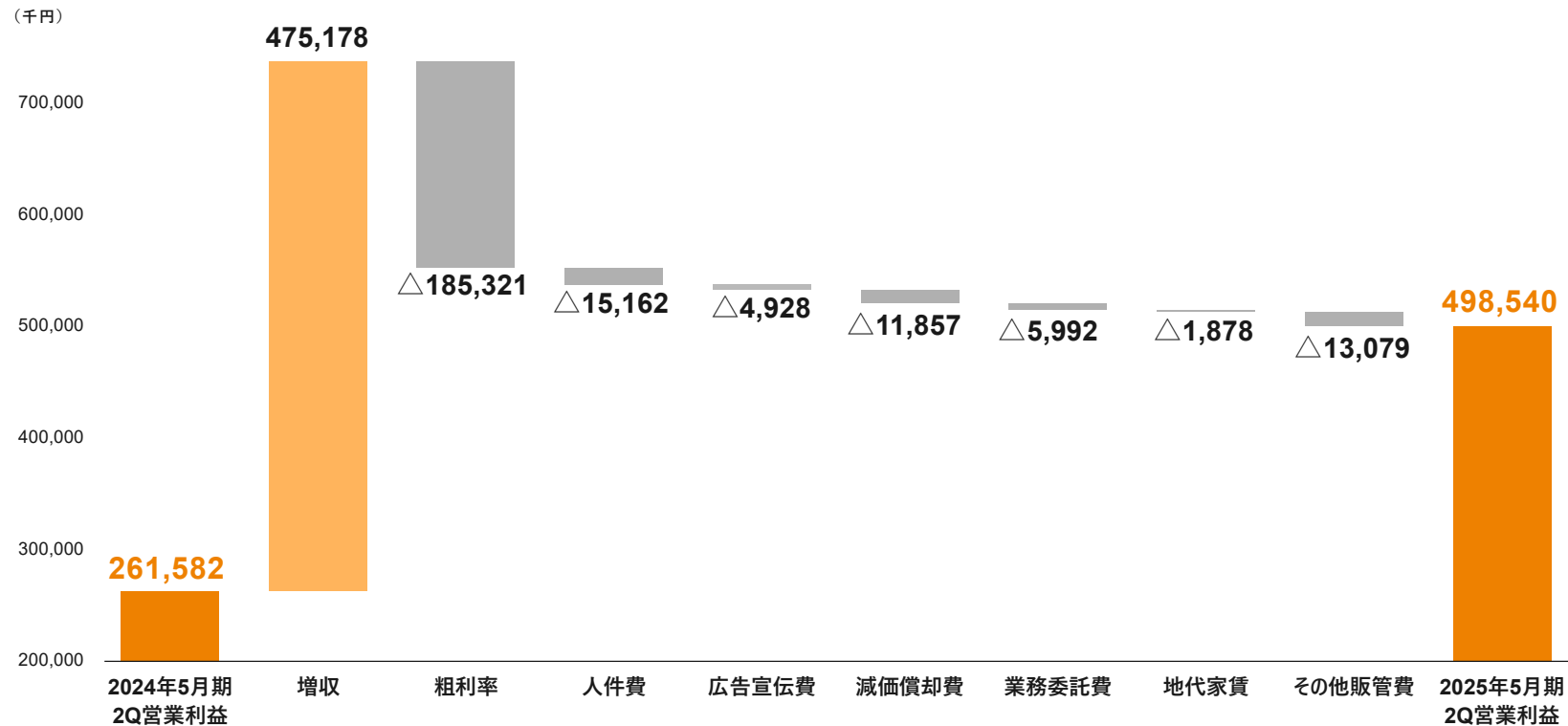
(千円)	2024年5月期 第2四半期	2025年5月期 第2四半期	増減額	増減率
販売費及び 一般管理費	163,391	216,290	+ 52,899	+ 32.4%
人件費	83,497	98,660	+ 15,162	+ 18.2%
広告宣伝費	12,608	17,537	+ 4,928	+ 39.1%
業務委託費	15,057	21,050	+ 5,992	+ 39.8%
減価償却費	3,325	15,182	+ 11,857	+ 356.6%
地代家賃	8,870	10,749	+ 1,878	+ 21.2%
その他販管費	40,032	53,111	+ 13,079	+ 32.7%

人員増加による影響

東京オフィス移転による影響

大型案件に伴う保険料の増加  
出張の増加

# 営業利益 増減分析



## 営業外収益・費用

(千円)	2024年5月期 第2四半期	2025年5月期 第2四半期	増減額	増減率
営業外収益	4,906	3,905	△1,000	△20.4%
為替差益	4,599	—	△4,599	—
受取利息	9	3,698	+3,689	—
その他	297	207	△90	△30.4%
営業外費用	20,086	5,288	△14,798	△73.7%
上場関連費用	20,086	—	△20,086	—
為替差損	—	5,288	+5,288	—

- 営業外収益は、為替差益の計上はないものの、受取利息が増加したことにより微減
- 営業外費用は、為替差損を計上したものの前期に計上した上場関連費用が当期は発生しないことにより減少

## 配当予想

	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期 予想
1株当たり 配当金(円)*	47.20	62.00	67.00	17.50 (70.00)
配当金総額 (百万円)	56	74	89	—
配当性向	20.0%	19.7%	20.4%	21.1%

- 配当は重要な株主還元施策
- 必要な投資はしっかりと行った上で、每期配当性向は引き上げていく方針

- ※ 2024年12月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施
- ※ 2022年5月期～2024年5月期は株式分割実施前の数字
- ※ 2025年5月期の数字は株式分割実施後の数字。( )内は分割を考慮しない場合の数字

# 業績予想（2025年5月期）

	2024年5月期		2025年5月期		増減額 (増減率)
	実績	売上比	予想	売上比	
(百万円)					
売上高	4,421	—	5,770	—	+1,348 (+30.5%)
営業利益	662	15.0%	675	11.7%	+12 (+1.9%)
経常利益	652	14.8%	675	11.7%	+22 (+3.5%)
当期純利益	432	9.8%	443	7.7%	+11 (+2.6%)

- 2024年7月12日公表値より  
変更なし

# — APPENDIX



# — 業績補足

# 貸借対照表

(千円)	2024年5月期末	2025年5月期 第2四半期末	増減額	増減率
流動資産	4,219,436	4,362,840	+143,403	+3.4%
現金及び預金	3,006,128	2,791,393	△214,734	△7.1%
商品	844,281	869,217	+24,935	+3.0%
固定資産	115,293	127,431	+12,138	+10.5%
資産合計	4,334,730	4,490,272	+155,542	+3.6%
流動負債	1,271,131	872,754	△398,377	△31.3%
固定負債	673,005	971,974	+298,968	+44.4%
純資産合計	2,390,592	2,645,543	+254,951	+10.7%
負債純資産合計	4,334,730	4,490,272	+155,542	+3.6%
自己資本比率	55.1%	58.9%	+3.8pt	—
有利子負債	—	—	—	—

# — 成長戦略

# 成長戦略

1

上位レイヤーソリューションへの移行と環境整備

2

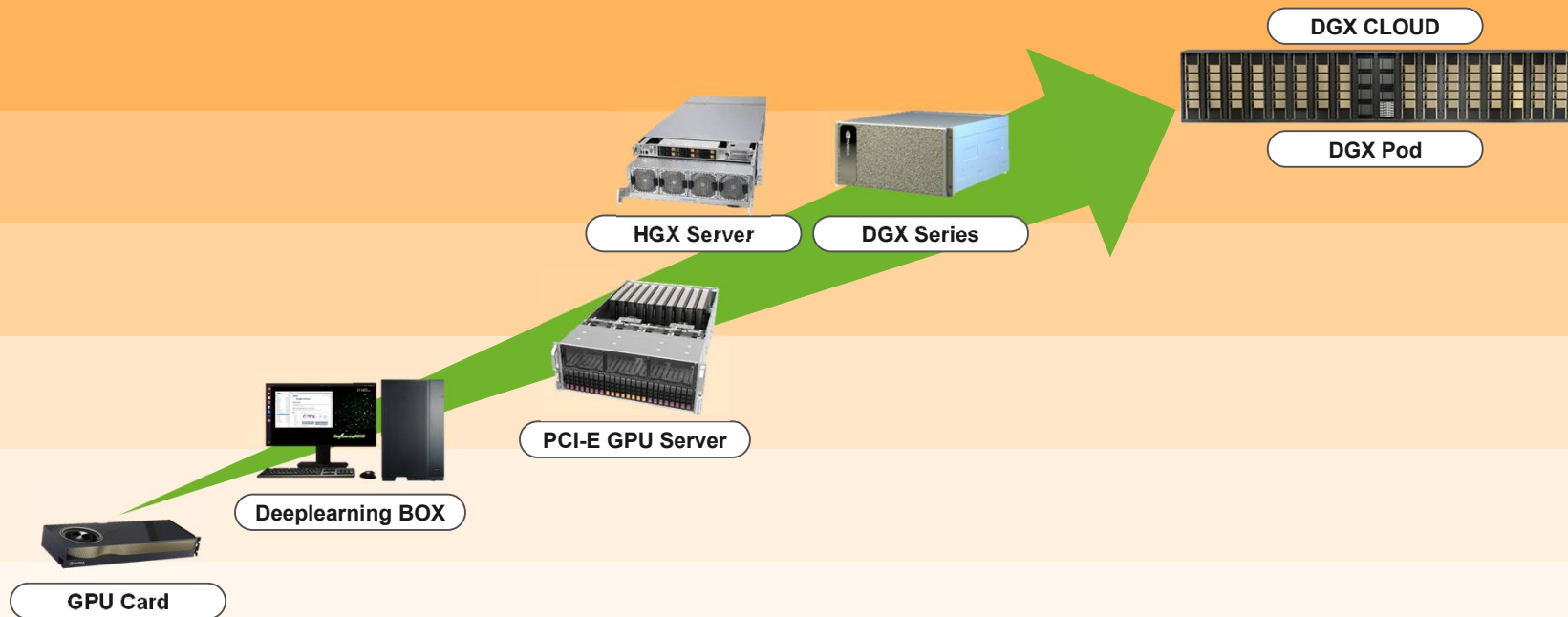
大規模AI時代に合わせたエコシステムの増強

3

AIリソースの総合ベンダーとしてハイブリッド化を促進

## 上位レイヤーソリューションへの移行と環境整備

デスクサイドのAIワークステーションから、大規模なGPU CLOUDまで、ポートフォリオを上位レイヤーへ拡充。大規模AIのユーザーニーズにタイムリーに対応し確実なアップセルを促進



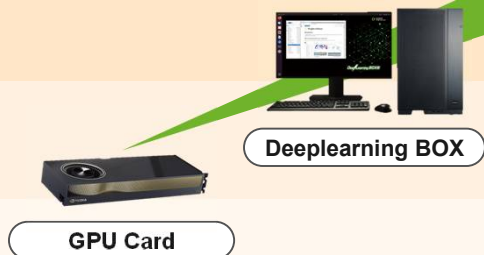
## 上位レイヤーソリューションへの移行と環境整備

国内データセンターと提携し、高負荷な最新のGPUシステムを安定稼働させるためのファシリティを提供  
AIを効率良く学習するためのソフトウェアツールも用意し、効率の良いAI学習を総合的に支援

AI学習を効率的に行うための  
ソフトウェアツール類を用意



トレーニング・運用支援



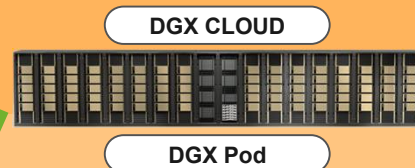
PCI-E GPU Server



HGX Server



DGX Series



DGX CLOUD

DGX Pod



国内データセンターと連携し  
より強化した安定稼働環境を提供

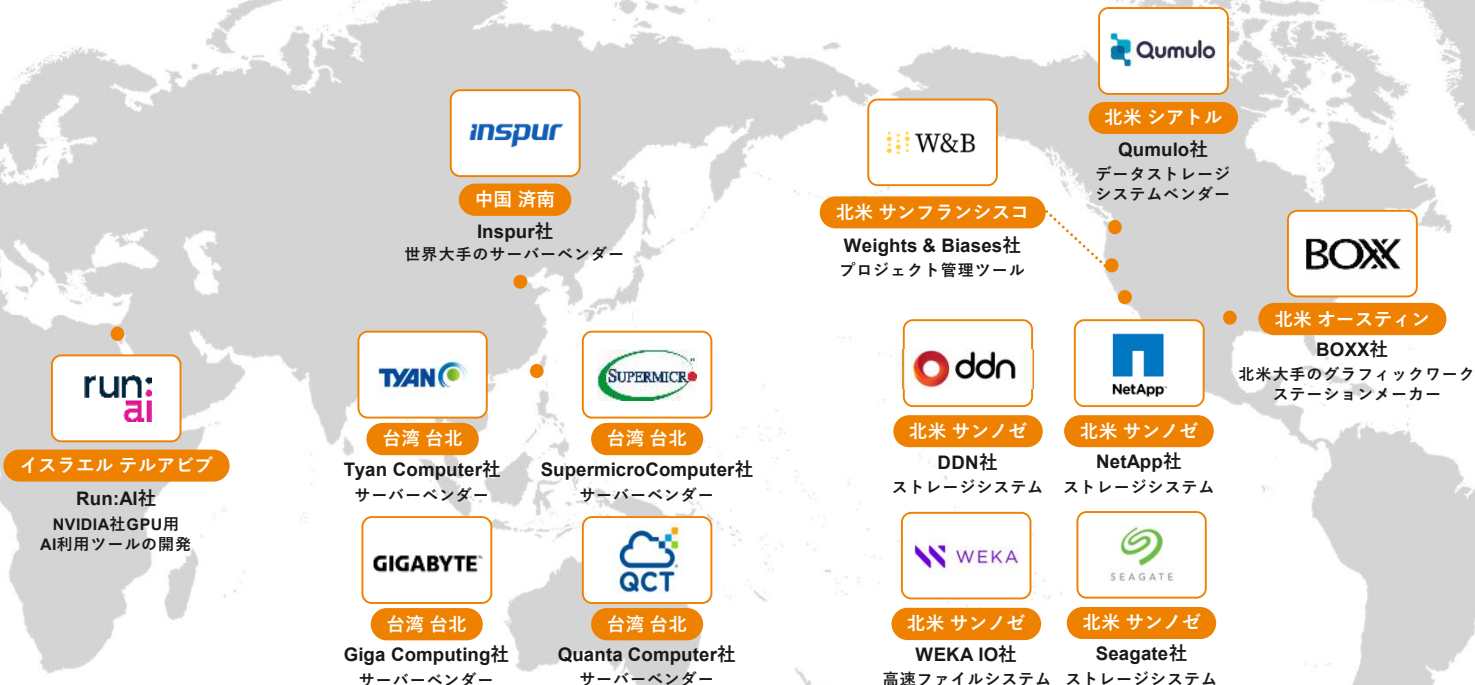
## 大規模AI時代に合わせたエコシステムの増強

国内ではSlerとの協業を開始し、大規模案件での水平分業、垂直分業を行える体制を確立。  
加えてクラウドベンダーやデータセンターと提携しオンプレミスとクラウドのハイブリッド利用を促進。  
また、モビリティ向けのPoCセンターであるGATをさらに増強し、良質のリード生成を図る。



# 大規模AI時代に合わせたエコシステムの増強

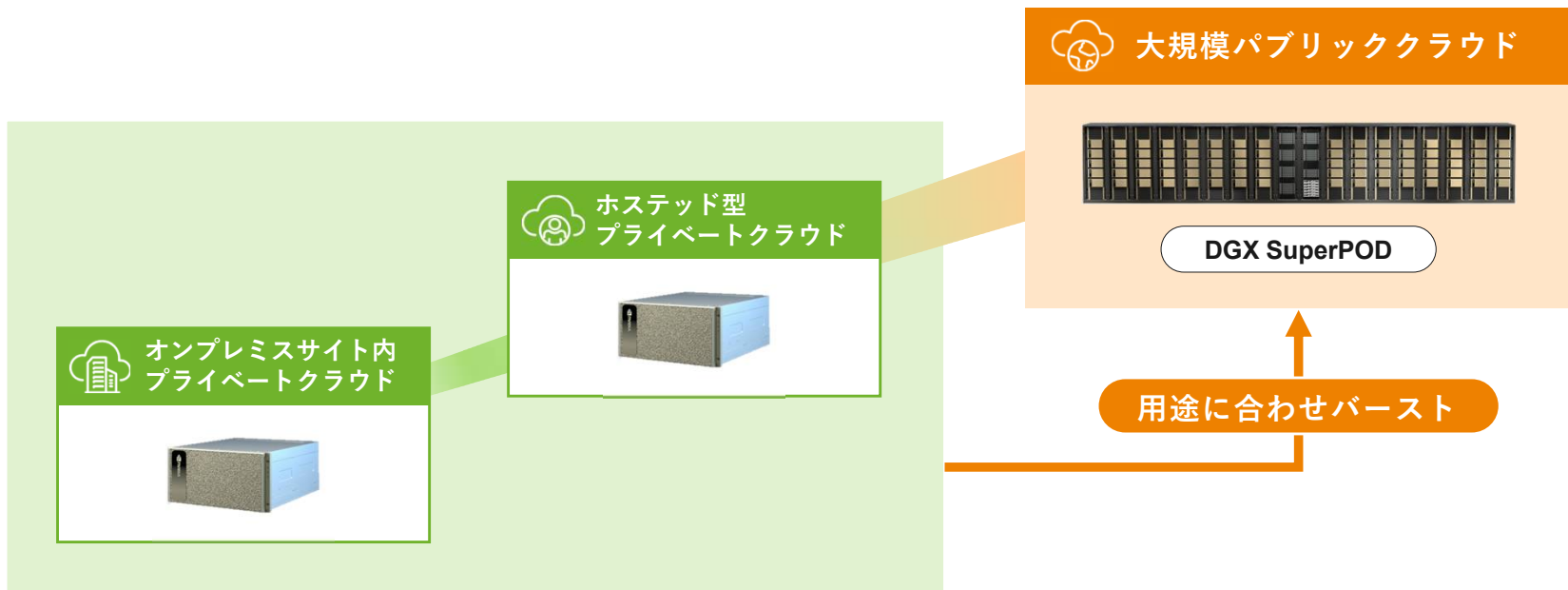
従来のグローバルパートナーに加えて、NVIDIA社と関係が深いOEMベンダー、ストレージベンダー、ソフトウェアベンダーとのパートナーネットワークをさらに強化  
 強固な製品調達力とオリジナリティのある大規模システムの構築が可能。





# AIリソースの総合ベンダーとしてハイブリッド化を促進













手元の既存リソースはPoCに、最新機器はデータセンターでプライベートクラウドとして利用。  
大規模計算時にはパブリックの大規模システムへバースト。  
全ての環境をシームレスに移行し、AI開発のスピードアップを支援する  
AIリソースの総合ベンダーを目指す。



# — 中期経営計画 数値目標

# 事業成長

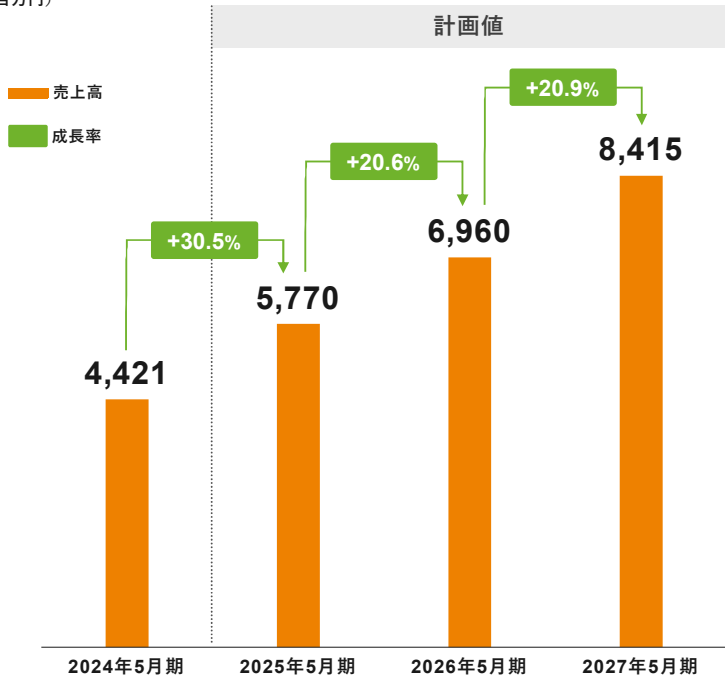
トップラインの伸びを加速させるとともに、更なる成長に向けた投資期間

	2025年5月期	2026年5月期	2027年5月期	After 中計
	ヒト・設備への投資期間		投資回収フェーズ	
方針	トップラインの伸びを加速させるとともに、ヒトと設備への投資を積極的に実施		25年5月期、26年5月期の投資の成果により、営業利益の成長率を加速させていく	営業利益の高い成長率を維持するとともに、営業利益率も高めていく
売上高	 5,770	 6,960	 8,415	
営業利益	 675	 775	 1,055	
営業利益成長率	 1.9%	 14.9%	 36.0%	

# 数値目標

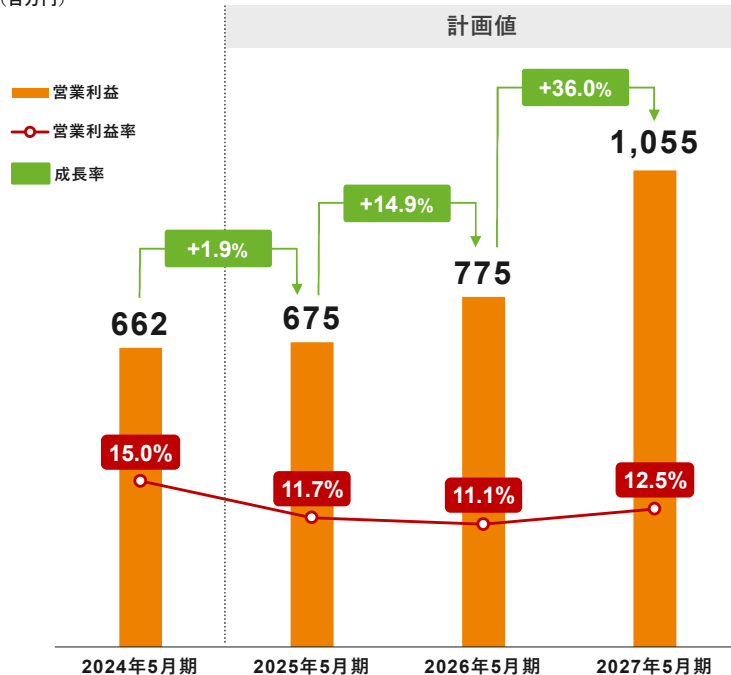
## 売上高

(百万円)



## 営業利益・営業利益率

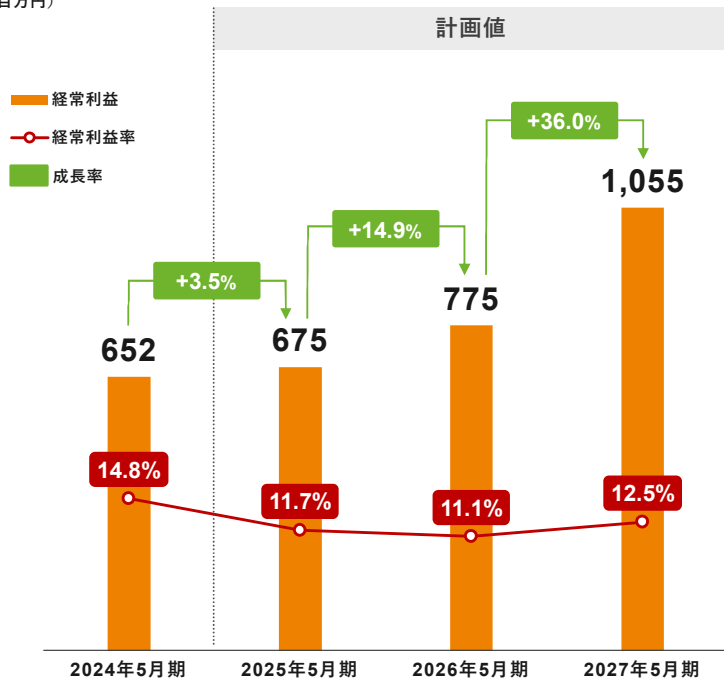
(百万円)



# 数値目標

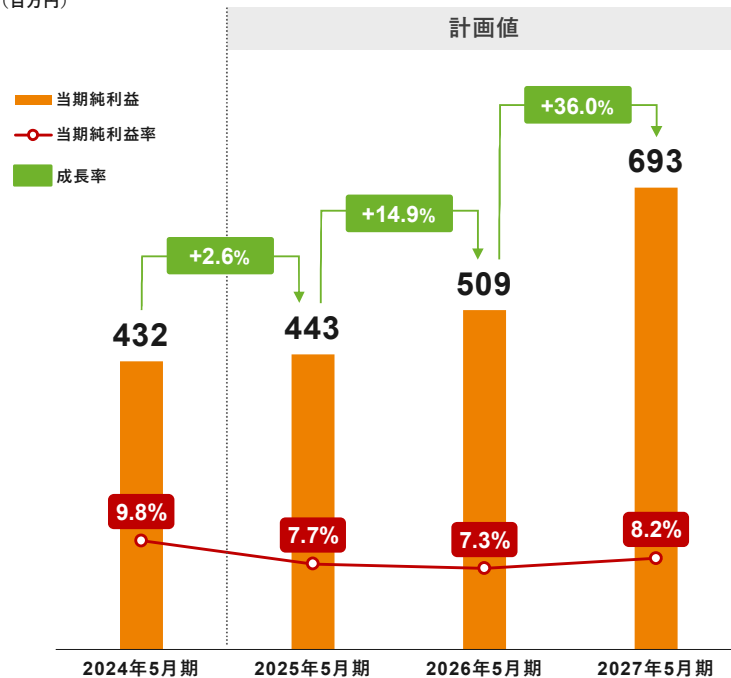
## 経常利益・経常利益率

(百万円)



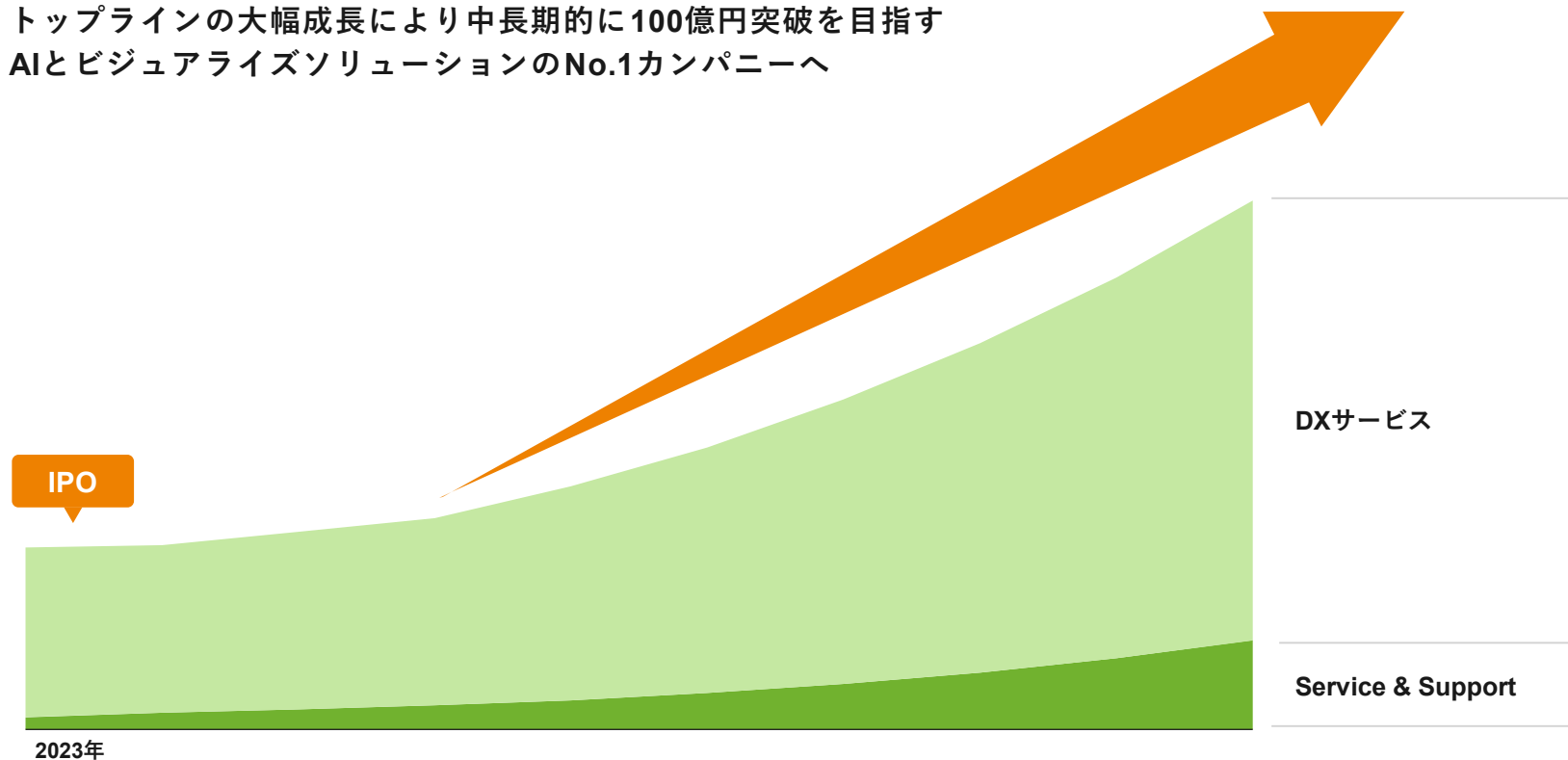
## 当期純利益・当期純利益率

(百万円)



## 事業成長イメージ

トップラインの大幅成長により中長期的に100億円突破を目指す  
AIとビジュアルライズソリューションのNo.1カンパニーへ



# — 会社概要

# 会社概要

社名	株式会社ジーデップ・アドバンス
	東京証券取引所スタンダード市場 証券コード5885
設立	2016年1月15日
代表者	代表取締役社長 飯野 匡道
所在地	<p>仙台北店 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3丁目4番33 仙台定禅寺ビル8階 TEL : 022-713-4050 FAX : 022-713-4051</p>
	<p>東京本社 〒106-6205 東京都中央区晴海一丁目8番12号 トリトンスクエアオフィスタワーZ棟5階 TEL : 03-6803-0620 FAX : 03-6803-0450</p>



## ミッション・行動指針

### ミッション

**Advance with you 世界を前進させよう**

### 行動指針

**当社は社員一人ひとりが社会の一員として、  
誠実かつ高い倫理観を持って行動します。**

私たちは事業を通じて社会の発展に寄与します。

私たちは法令を遵守し公正と透明性を重んじます。

私たちは道義的に正しいことを判断基準とします。

私たちは人権を尊重し多様性を受け入れます。

私たちは環境負荷削減、環境リスク低減を通じて未来を創造します。

私たちは心と身体の健康を常に意識し、健やかな職場作りを目指します。

私たちは社会の一員として地域に貢献します。

私たちは常に誇りと責任を持って全ての仕事に取り組みます。

私たちは目的を共有し自身の成長と会社の成長を一緒に楽しみます。

# ボードメンバー



代表取締役 CEO  
**飯野 匡道**

1993年 トーワ電機株式会社入社  
2007年 ネバダ州リノで開催されたSuper Computing ConferenceでNVIDIA社のGPUに出会い、翌年から国内での普及活動を開始。2016年当社創業。



取締役 CFO  
**大橋 達夫**

公認会計士  
あずさ監査法人で監査の実績を積んだ後、一般企業でIPO実務を経験。  
2020年当社取締役就任。



取締役  
**小島 広**

半導体商社を経て、IT系ディストリビューターにてインテル社をはじめとした複数の海外メーカーのバイヤーを経験。  
2016年当社取締役就任。



社外取締役  
**栗原 さやか**

弁護士  
東京の大手法律事務所を経て、仙台あさひ法律事務所を開設。  
2021年当社の社外取締役に就任。



社外取締役  
**林 憲一**

信州大学特任教授 元NVIDIAエンタープライズマーケティング本部長  
大学卒業後、富士通研究所にて製品開発に従事。MicrosoftやNVIDIAにて国内マーケティングを担当。2022年当社社外取締役に就任。



常勤監査役  
**山縣 邦雄**

日本電気株式会社にて経理・財務などの管理業務に従事した後、複数のグループ企業の監査役を経験。  
2022年当社常勤監査役に就任。



監査役  
**星 伸之**

公認会計士  
金融機関を経て、大手監査法人にて監査の他IPO支援業務に携わる。  
2016年会計事務所を設立。2021年当社監査役に就任。



監査役  
**深澤 俊博**

弁護士  
仙台市内の法律事務所を経て、2022年に仙台かがやき法律事務所開設。  
2021年当社監査役に就任。

# 事業内容

システムインキュベーション事業の単一セグメント、その中にDXサービスとService&Supportのサービス  
DXサービスの主な提供内容はAIソリューションとビジュアライズソリューション

## システムインキュベーション事業

### DXサービス

- ハードウェア及びソフトウェアの提供
- ハードウェアの動作環境の提供

#### AIソリューション

AI学習環境システムや、推論用エッジデバイスをエンドツーエンドで提供



↓ 提供

↑ 対価

#### ビジュアライズソリューション

最新のXRやメタバースなど可視化や仮想化及び、CAD,CAE,CGなど設計やデザインのためのシステムやソフトウェアツールの提供



↓ 提供

↑ 対価

### Service & Support

- 保守
- 運用支援
- 性能向上支援

システムメンテナンスに加え、継続的な開発環境のアップデートを行いシステム全体のパフォーマンス向上を支援



↓ 提供

↑ 対価

### 顧客

教育機関

製造業

自動車

情報・通信

スタートアップ

ヘルスケア

M&E

研究機関

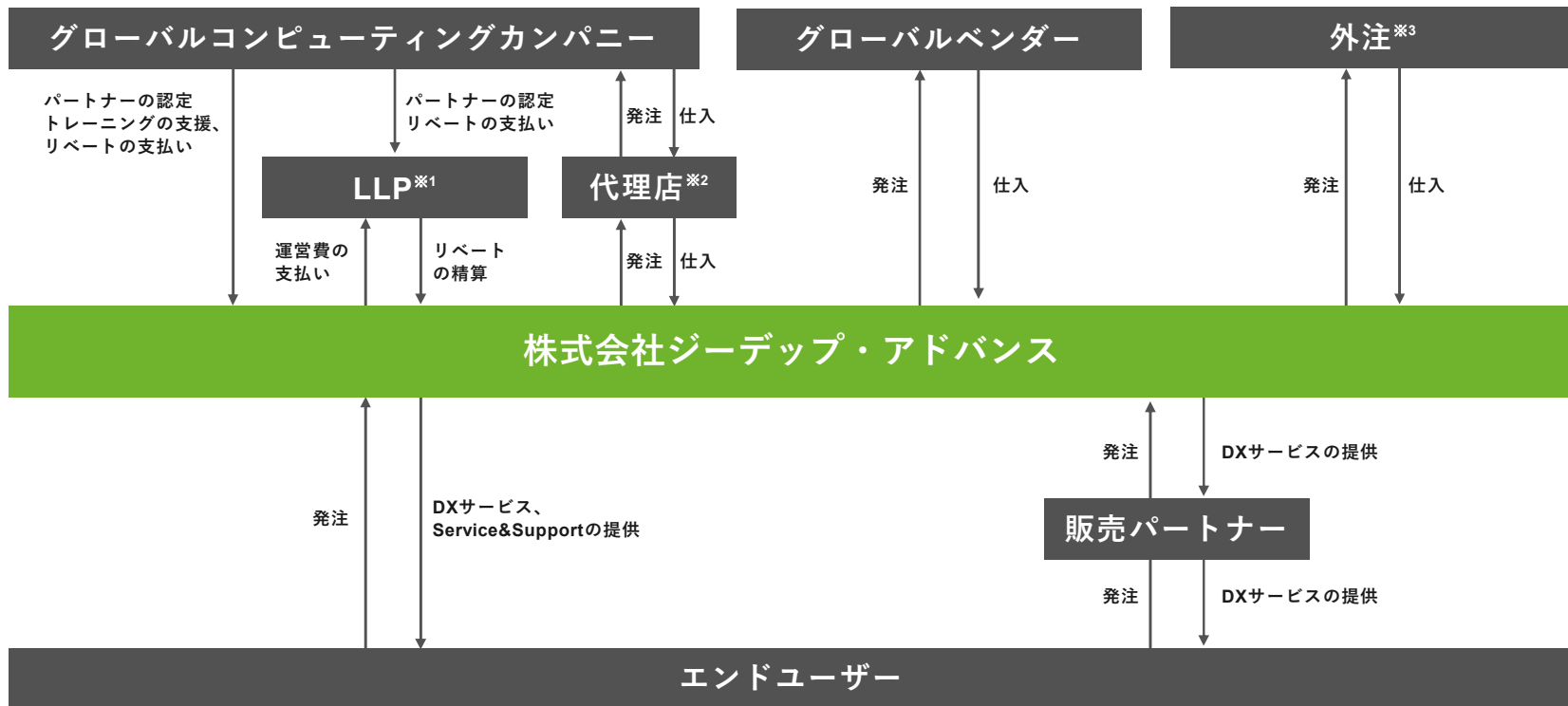
※ビジュアライズとは、直接見ることでできない事柄や現象、関係性などをイメージとして表現（可視化）すること  
※M&Eとはメディア&エンターテインメントの略

## サービス区分とビジネスモデル

DXサービスのうち、AIビジュアライズソリューションサービス及び  
 その他DXソリューションサービスはフロービジネスであり、  
 DXサービスのうちサブスクリプションサービス及びService&Supportはストックビジネス

サービス区分	主なサービス内容	ビジネスモデル
DXサービス	<b>AI・ビジュアライズソリューションサービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● AIサービスを開発・運用するための製品やサービスの提供と、映像や画像を用いるコンピュータ処理を行うための製品やサービス</li> </ul>	フロー ビジネス
	<b>その他DXソリューションサービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ストレージの組立・販売やネットワーク機器の販売・設定及びソフトウェアの販売・設定とそれらを組み合わせたシステムの設計や構築</li> </ul>	
	<b>サブスクリプションサービス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自社内で利用するオンプレミスによる提供の他に、レンタルやクラウドなどを「サブスクリプションサービス」として提供</li> </ul>	ストック ビジネス
Service & Support	<b>継続的な開発環境のアップデート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフトウェアのアップデートや最適なバージョンの組み合わせによって、システム全体の性能を向上するサービス</li> </ul>	
	<b>ハードウェア保守</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Q&amp;A、FAQ共有、障害切り分け、オンサイトサポート、代替え環境などを提供</li> </ul>	

# 事業系統図



※1 日本GPUコンピューティング有限責任組合を指します。当組合はNVIDIA社からパートナー認定を受けており、NVIDIA社からレポートを受け取り、各組合員に配賦しております。

※2 当社は、主にグローバルコンピューティングカンパニーからパートナー認定を受けた国内代理店から、商材の一部の仕入を行っております

※3 組立作業の一部について外注を使用しております。

# 事例紹介

## INPUT

### 課題



InferVision JAPAN様  
(中国医療系スタートアップ)

#### 新型コロナウイルスの医療画像診断

- 国内の大学や医療研究機関の現場で利用するため、高速な推論処理性能と高信頼性を維持したまま、出来る限りの小型・静音・低消費電力化を行いたい



## OUTPUT

### ソリューション

#### AI推論用エッジデバイス

台湾TyanComputer社のベースシステムを改良し、NVIDIA社の小型GPUを搭載。徹底した動作検証でNVIDIA社のデバイス認証も取得。

- 小型・低消費電力で高い堅牢性を実現
- NVIDIA社認証を取得し信頼性を担保
- 従来のPC推論よりも最大で36倍高速

#### Incubation



## OUTCOME

### スモールマス展開

2020年7月に一般リリースを行い、顔認証システムや、人流解析、防犯システムなどに採用



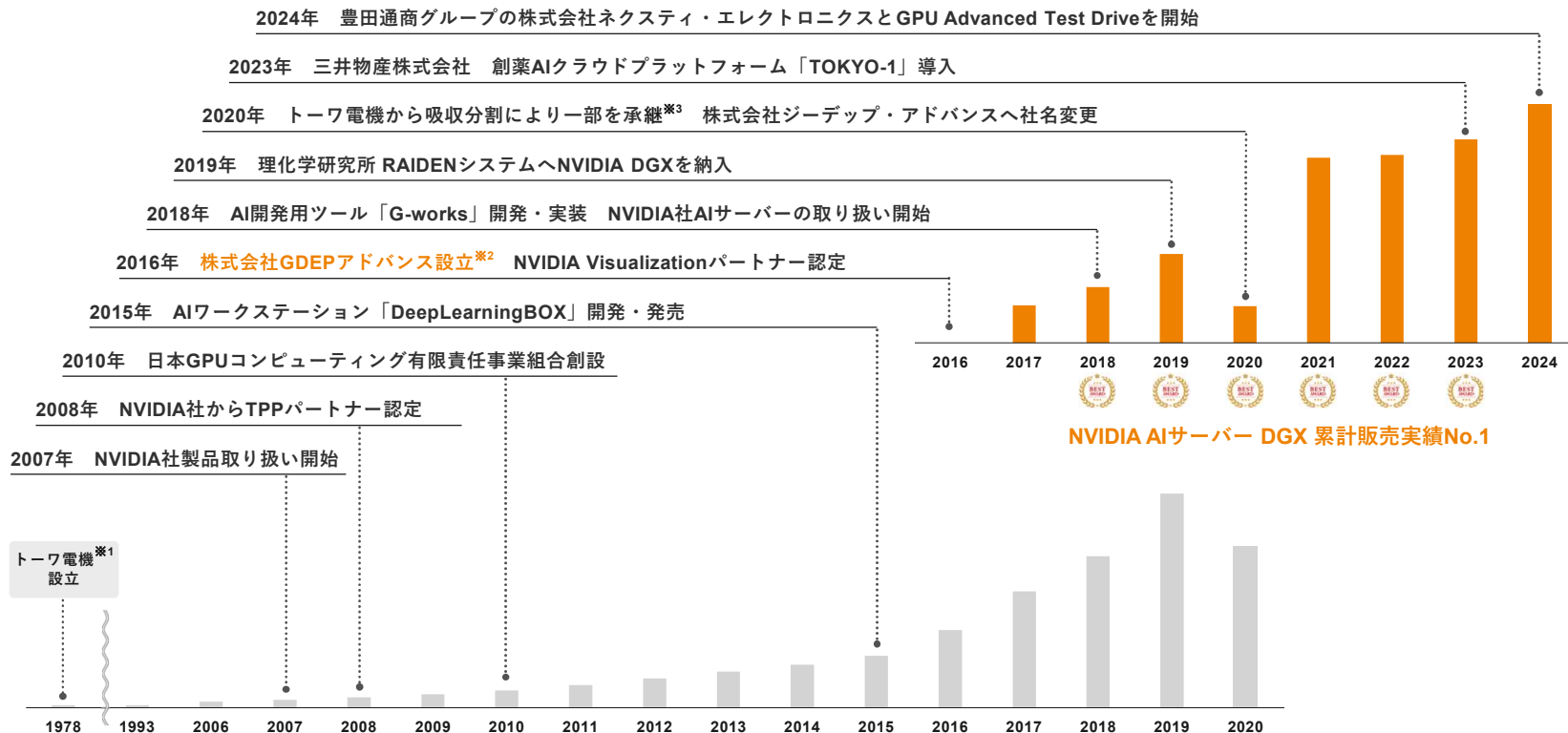
### 課題解決フェーズ

お客様の課題をヒアリングし、先端技術を用いた独自のソリューションを企画・提案・提供  
※スモールマスへの展開を意識

### スモールマス展開フェーズ

得られた知見を同様の課題を抱えているお客様に対するセミオーダーメイドソリューションとして展開

# 沿革と売上高推移



※1 トーワ電機は当社の実質的な前身企業

※2 NVIDIA社製品を提供することを主な目的にトーワ電機株の子会社として設立

※3 2020年4月1日をもって、トーワ電機株の情報通信事業及びトーワ電機が保有するLLPへの出資持分について吸収分割を受けたもの

# — 当社の強みと特徴



## 強みと特徴の概略

グローバルコンピューティングカンパニー4社から認められる技術力と、グローバルベンダーとの連携から生まれる企画力・製品調達力が源泉となり、高い競争優位性を創出

### 強みの源泉

グローバルプロセッサメーカー  
4社から認定された  
高い技術力

グローバルITベンダーとの連携から生まれる  
企画力・製品調達力



### 当社の特徴

1 最新テクノロジーと  
独自ギミックを組み合わせた  
最適解の提案

2 ソリューション提供形態の  
多様性

3 Service & Supportによる  
顧客継続性

4 スモールマス展開を  
見据えた案件獲得

5 他社との差別化を実現する  
独自のポジショニング

当社の強みと特徴

# グローバルプロセッサメーカー4社から認定された高い技術力

**Certifications** : グローバルプロセッサメーカー4社から11タイプの認定を取得

※この4社から認定を受けているのは日本では当社のみ

特に**NVIDIA**は2007年から良好な関係を構築している**国内No.1**※パートナー

※認定ライセンス数、AIサーバーDGX販売実績、アワード受賞回数

## 認定

- NVIDIA AI Solution Provider Preferred ※
- NVIDIA Compute Solutions Integration Elite ※
- NVIDIA Networking Solution Provider Preferred ※
- NVIDIA Omnivers Solution Provider Preferred
- NVIDIA Visualization Solution Provider Elite
- DGX AI Compute Systems Cloud Partner Preferred
- DGX AI Compute Systems Solution Provider Elite ※
- DGX Cloud Solution Provider Preferred ※

※LLPとしての認定



## Awards

- FY17 NVIDIA BEST DGX Reseller Award※
- FY18 NVIDIA BEST DGX Reseller Award※
- FY19 NVIDIA BEST DGX Reseller Award※
- FY20 NVIDIA BEST DGX Reseller Award※
- XILINX VAR Recognition Program Champion Award
- FY21 NVIDIA BEST DGX Reseller Award※
- FY22 XILINX VAR Recognition Program Champion Award
- NVIDIA BEST DGX Partner of the year※
- NVIDIA BEST NPN of the year※
- FY23 NVIDIA BEST NPN of the year※
- NVIDIA BEST Infrastructure Partner of the Year※
- FY24 NVIDIA Solution Provider Award of the Year※

※LLPとして受賞

技術力・提案力・実績が評価され  
毎年アワードを受賞



intel® Technology Provider GOLD



XILINX® ALVEO Value Added Reseller

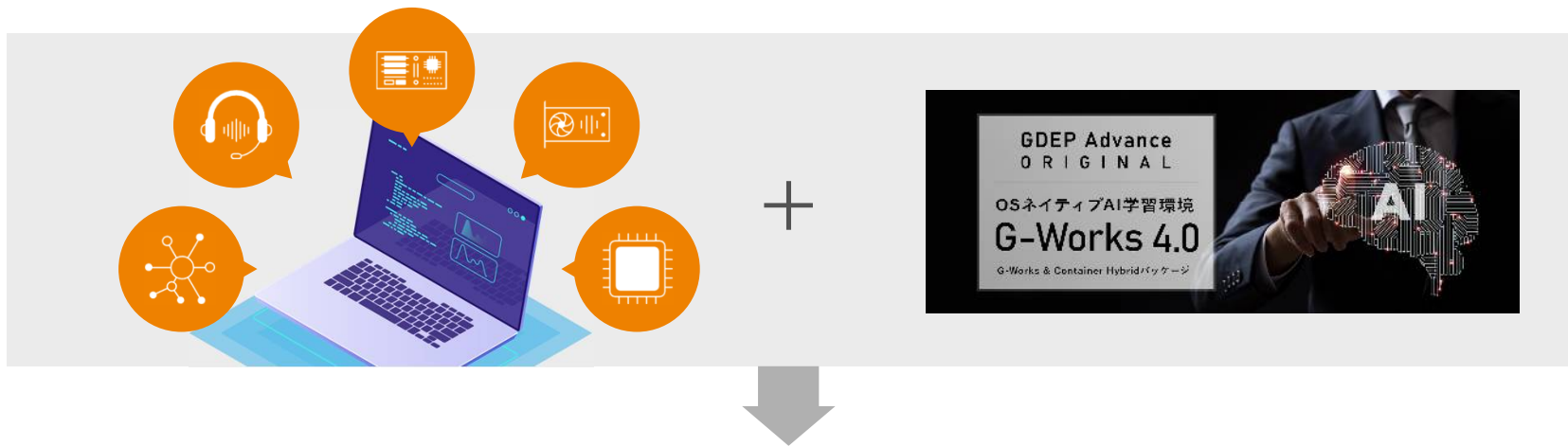


AMD® Elite Partner



# 1 最新テクノロジーと独自のギミックを組み合わせた最適解の提案

グローバルコンピューティングカンパニー4社の認定パートナーとしての技術力と、グローバルベンダーとの綿密な情報共有により**最新のテクノロジーを組み合わせ、そこに独自のギミックを追加**  
顧客の課題解決のためのベストソリューションを設計・提案



顧客の課題に応じたオリジナルモデルの設計・提供

## 2 ソリューション提供形態の多様性 (1/2)

フロービジネスとなるオンプレミスだけでなく、ストックビジネスであるクラウド、レンタルサービスまで、**多様な顧客ニーズに対応可能な柔軟な提供形態**



### オンプレミス



コンピューターシステムを利用者側で保有・運用。AIとビジュアルライゼーション用途のワークステーションやサーバー、高速大容量ストレージ、広帯域ネットワークなど設計・構築も含めて幅広く提供

フロー  
ビジネス

### クラウド



クラウド提供ライセンスを保有。安定運用が可能な大電力高排熱対応のデータセンターと提携シラッピング提供と運用支援サービスと一体化して提供

ストック  
ビジネス

### レンタル

Rental



用途やスペック、期間や予算に応じてハードウェアをフレキシブルなレンタルサービスとして提供

## 2 ソリューション提供形態の多様性 (2/2)

弊社提供のクラウドは大手事業者にはない最先端のハードウェアを用いており、ベアメタル方式※でサービスを提供。顧客の利便性を高め、開発用のクラウドとして高い競合優位性を確立

クラウド



### 一般的なクラウドサービス

仮想化環境を介して運用  
1つのリソースを複数ユーザーで共有

- 海外サーバーへのデータ送受信でセキュリティ面とコスト面での懸念あり
- 使用可能なリソースが限られる



### 当社が提供するベアメタルクラウド

仮想化環境を用いず、  
リソースを1社で占有

- ハードウェアの性能をフルに利用可能
- 低コストと拡張性を担保しオンプレミスと同等のセキュアな環境を実現



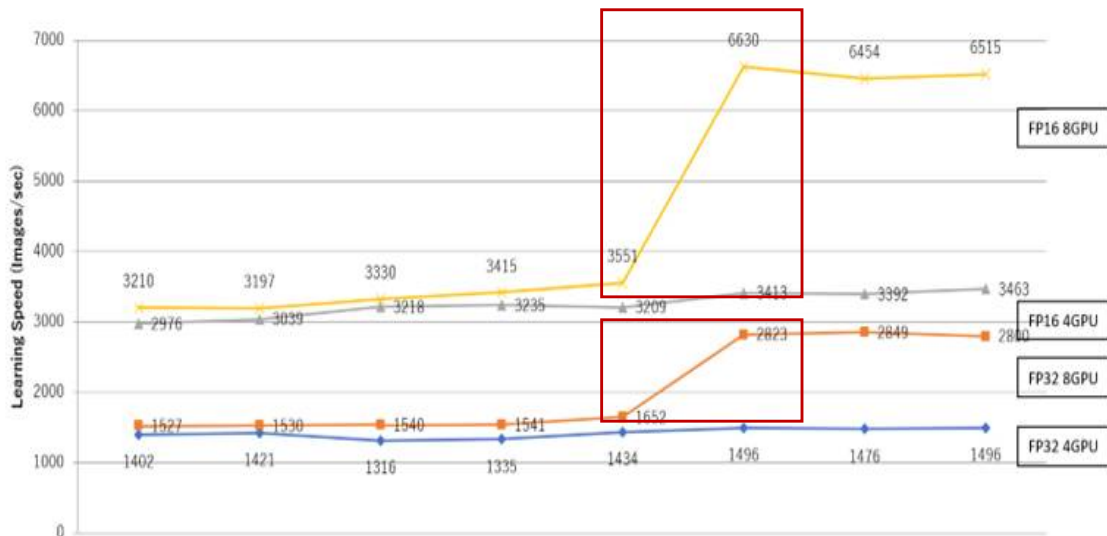
※ベアメタルクラウド 物理サーバーを仮想化せずにクラウド利用する仕組みであり、仮想化のための余計な処理が無い分、システムの性能をダイレクトに享受できる

### 3 Service & Supportによる顧客継続性

ソフトウェアチューニングによる性能変化を実機検証し、お客様のシステムを常に最適な環境に更新  
 ハードウェアはそのままでシステムの性能を継続的に向上していくサービス  
 導入後の利用価値向上（ユーザーエクスペリエンス）を実現

ソフトウェアチューニング（ソフトウェアのアップデートや世代別のバージョンの組み合わせで最適値を見つける作業）を行うことでシステム全体のパフォーマンスを向上

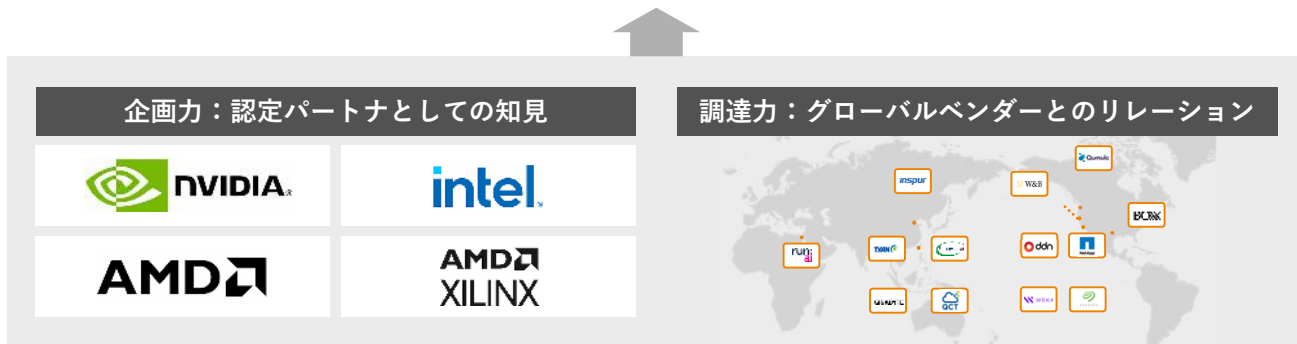
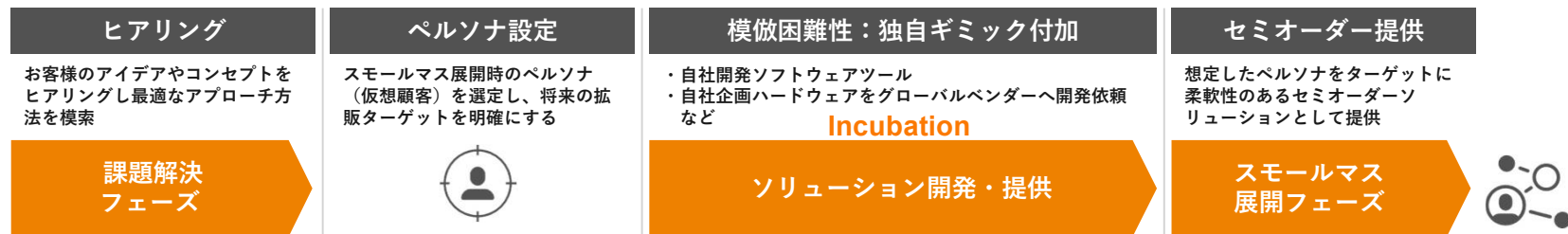
R&Dでの利用がメインで、進化や  
 トレンド変化のスピードが速い  
 AI開発環境は当社の得意領域



## 4 スマールマス展開を見据えた案件対応

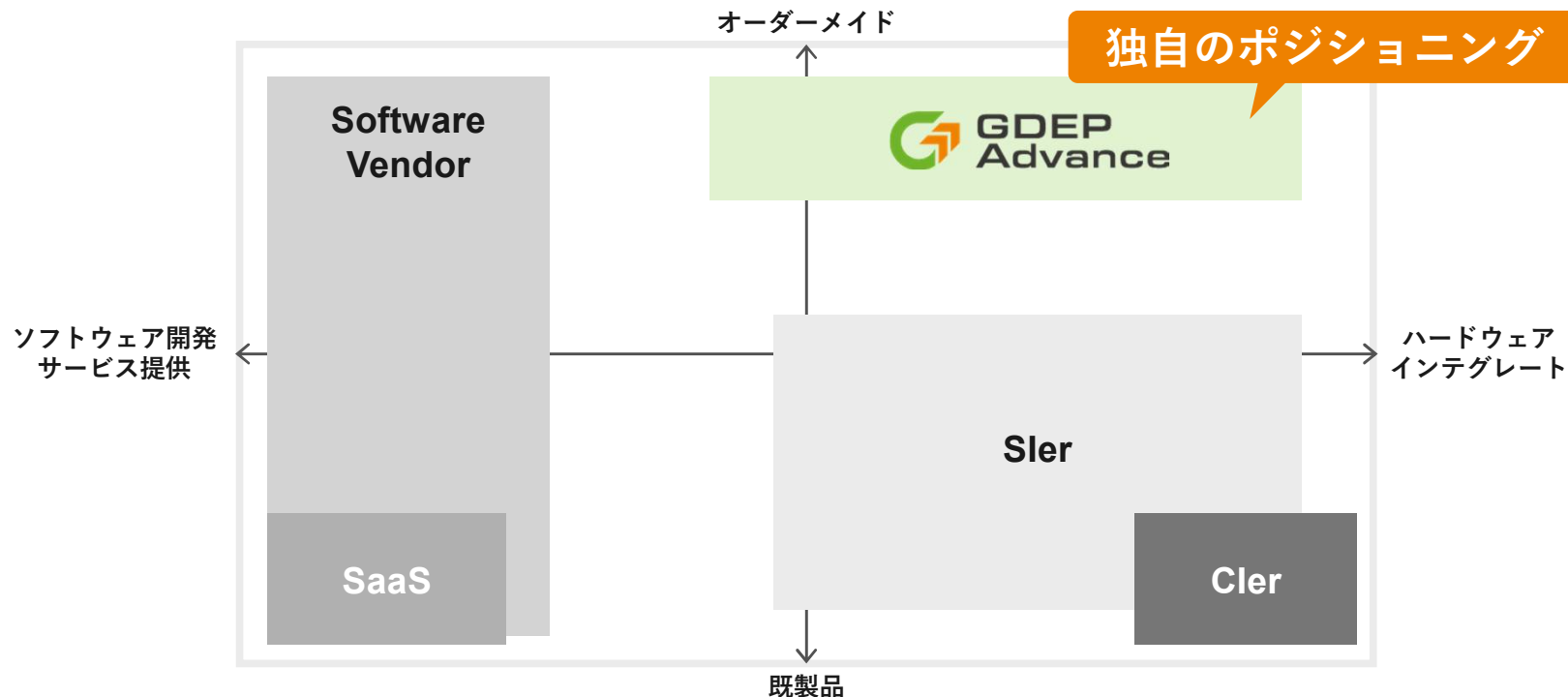
個別の課題解決を通して、スマールマスに展開可能なソリューションを開発

独自ギミックを付加し、**模倣困難性を高めることによりスマールマス展開時において高い収益性を実現**



## 5 他社との差別化を実現する独自のポジショニング

最先端のハードウェアに強い知見を有した柔軟性のあるソリューションプロバイダー





## 本資料の取り扱いについて

本資料は情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。本資料の全部または一部を当社の承認なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータから引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



Advance with you 世界を前進させよう